

今年のスイカは大変甘かったですよ！

大正組 田中 嗣夫

スイカが大好物の私の子供のころからの夢は、毎日スイカを好きなだけ食べるということでした。その夢を実現するべくスイカ作りに挑戦してみました。農業には素人の私ですが、幸いにも現在はインターネットでいろいろな情報を集めることができます。

田中靖夫さんの空き地をお借りしてスイカ作りを始めました。草がぼうぼうで、カボチャのような石がごろごろしている土地で、耕運機はとても入りそうにありません。そこで以前から心に温めていたスイカの棚作りです。苗を植え付ける所だけを耕し、蔓は棚の上を這わせ、スイカはハンモックで吊るします。



この方法だと、鳥獣被害が全くありません。割れたスイカを土手に放り出しておくと、翌日にはもうなくなっていますが、吊るしたスイカは全く被害を受けません。

スイカは連作するとタンソ病とつる枯れ病に侵されて、ほとんど収穫前に蔓が枯れてしまいます。これらの病原菌はカビの一種で、土の中に残った胞子が雨で飛散して伝染します。棚作り栽培ではこの点でも効果的なようです。葉が地面から遠いのと、地面が雑草で覆われているため胞子が飛散しにくいと思います。それと作業がしやすいため、病気になった葉をすぐ切り取って処分すれば病気の発生を遅らせることができます。要は収穫まで蔓が持てばよいのです。

この土地でのスイカ栽培は2年目ですが、今年は7月の天候が良かったせいもあって昨年よりも大きくて甘いスイカが採れました。来年もこの土地でスイカを作る予定ですので、四月号から詳細を連載しようかと思っています。